

科学技術の研究開発を支援する矢崎科学技術振興記念財団（本部東京都港区、細川興一理事長）はこのほ

16件の研究に助成金

矢崎科学技術振興記念財団が贈呈式



細川理事長（右）から助成金が贈られた

ど、東京都内で「第35回研究助成金贈呈式」を開催した。新材料、エネルギー、情報の3分野を対象に研究を公募し、応募総数約150件の中から16件を選定し

た。「一般研究助成」（助成金200万円）に5件、若手研究者のための「奨励研究助成」（同100万円）に10件、財団が定めるテーマを対象とする「特定研究助成」（同1千万円）に1件を選んだ。国際学会に参加する渡航費を援助する「国際交流援助」に19人を決定した。

また、過去に研究助成を受けた研究者の中から、優れた成果をあげたとして、名古屋大学大学院工学部化学・生物工学専攻の忍久保洋教授に功績賞が贈られた。

同財団は1982年、矢崎総業の創業40周年を記念して設立された。贈呈式では山崎弘郎選考委員長が「今回の助成を機に、より一層研究に励んでほしい」と述べた。